

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	京都市家庭教育支援チーム (呼称:子育て支援団体「ママキラ☆プロジェクト」) URL: https://mamakira.com
②活動拠点	京都府京都市左京区岡崎北御所町18-2
③活動範囲	京都市全域(左京区を中心として)
④組織体制	5人 代表、会長兼会計、運営委員4名の計6名 ほか、地域のママたち5名、ボランティア大学生10名
⑤活動開始年度	令和2年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 子育て支援団体「ママキラ☆プロジェクト」 会長・上川謙太郎 (TEL)090-4277-7333 (E-mail)project@mamakira.com

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input checked="" type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他(こどもの居場所づくり、ママの居場所づくり、学生の居場所づくり)
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施
③活動内容	【具体的な活動内容】 ① 保護者等への学びの場の提供 ・「イライラしない子育て講座」を中心に、保護者への学びの場を提供してい

	<p>ます。毎日、子育てにイライラしているママに、「褒め方・認め方」「子育てリハーサル法」「アンガーマネジメント」など、子育てのコツ(技術)を提供しています。1回1時間程度、3～5名、随時(リアル・オンライン)開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この「子育て講座」がきっかけとなり、具体的な子育ての悩み、夫婦の悩み、家庭環境の相談などが、たくさん出てきます。 <p>② 保護者等への地域の居場所づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ママキラ☆ハンドメイド」を開催し、保護者への地域の居場所づくりを行っています。具体的には、アクセサリーや部屋飾りを作りながら、子育ての悩みや喜びを共有し、ホッとできる「ママの居場所」を提供しています。 ・できた作品は、自分や子どもへのプレゼント、さらには、ウクライナ支援やチャリティーバザーなどに役立てています。 <p>③ フードパントリーと個別相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭を対象に、三か月に一度、「フードパントリー」を行っています。その際、1人1時間ずつ時間を取って、「困りごとアンケート」を書いてもらい、それを元に、具体的な困りごとを丁寧に聞いています。 ・離婚の背景、貧困の状況、重い病気、子どもに対する虐待の危険性など、かなり深刻な話が出てきます。 <p>④ アウトリーチ型家庭教育支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①子育て講座、②ハンドメイド、③フードパントリーを続けていると、結果的に、個別の相談や具体的な支援に繋がります。そうした中で、自宅へ出向いて相談にのったり、区役所やシェルター、保健師など、具体的な機関に繋げる世話どりも行っています。 ・あるとき、①②に参加しているママから、「私の友人が、夫のDVで苦しんでいます。母親と中1の娘が、二人で夜逃げしたい、と言っています。一緒に、たすけてもらえませんか」という相談を受けました。 ・結果として、シェルターに入る段取りをし、区役所で生活保護の申請をし、住居の問題、中1の娘の不登校の相談など、具体的な支援を行いました。今では、その親子は、「こども食堂」や「ハンドメイド」にも参加し、元気に、新しい人生を歩んでいます。これは一例ですが、こうしたアウトリーチ型の家庭教育支援も行っています。
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の声「子育て講座で、自分の子育てが劇的に変わりました。イライラしなくなっただけでなく、子どもへの言い方や接し方が変わりました。」 ・「ハンドメイドで、アクセサリーを作りながら、みんなと雑談をすることで、心の居場所を感じます。ここで、いろんな悩みを聞いてもらうことが、私の精神安定剤になっています。本当に、心強いです。」 ・「フードパントリーで、食品をもらいにきたつもりだったのですが、思いがけず、重い病気や複雑な家庭環境を聞いてもらって、涙が止まりませんでした。親身になってくださる居場所ができて、嬉しいです。」

<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施(京都市、京都府からの助成金)</p> <p><input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (企業、団体などから助成金、個人の寄付、参加費で運営しています)</p>
------------------------------------	---